別記様式第24　　①

非常電源（高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備）試験結果報告書

試験実施日　　年　　月　　日

試験実施者
住　所
氏　名　　印

消防用設備等の別					
使用区分	共用　（　　）				
	消防用設備等のみに使用				
受電方式	Φ　W　V　Hz　容量　kVA				
主遮断装置	定格遮断電流	kA	定格電圧	V	
	種別		定格電流	A	
高圧交流負荷開閉器			定格電圧	kV	
			定格電流	A	
高圧カットアウトスイッチ			定格電圧	kV	
			定格電流	A	
変圧器	容量	kVA	１次・２次電圧	V／　V	
	種別	油入　乾式　その他	使用区分	専用　共用（　）	
コンデンサ	容量	kVA	定格電圧	V	
	種別	油入　乾式　その他			

試験項目				種別・容量等の内容				結果
外観試験	設置場所等	設置場所						
		不燃専用室・機械室等	換気設備	――				
			有効な防火区画	――				
			防水措置	――				
			出火防止・延焼拡大防止	――				
			照明設備の有無	――				
			標識	――				
	構造・性能			――				
	保有距離（m）	保有距離を確保しなければならない機器等の部分／機器名		操作面	点検面	換気面	その他面	
		キュービクル式						
		キュービクル式以外	閉鎖型					
			オープン式					

非常電源（高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備）　②

試験項目						種別・容量等の内容					結果
外観試験	設置方法	分岐方法				――					
		結線・接続				――					
		表示				――					
		耐震措置				――					
		※絶縁距離	キュービクル式のもの	高圧充電部	相互間	最小の距離　mm					
					大地間	最小の距離　mm					
				高圧用絶縁電線非接続部	相互間	最小の距離　mm					
					大地間	最小の距離　mm					
				高圧充電部と高圧用絶縁電線非接続部相互間		最小の距離　mm					
				電線端末充電部から絶縁支持物までの沿面距離		最小の距離　mm					
			キュービクル式以外のもの	接近対象物／高圧屋内配線		低圧配線		高圧配線		管灯回路の配線、弱電流電線、水管、ガス管又はこれらに類するもの	―
						がいし引き配線	配線以外がいし引き	がいし引き配線	ケーブル配線		
				がいし引き配線（mm）							
				ケーブル配線（mm）							
		構造・性能				――					
機能試験	接地抵抗試験					Ω					
	※絶縁耐力試験					印加電圧　V					
	※作動試験	保護継電器の作動状況				――					
		遮断器の作動状況				――					
		警報器の作動状況				――					

非常電源（高圧又は特別高圧で受電する非常電源専用受電設備）　③

<table>
<tr><th colspan="3">試　験　項　目</th><th>種別・容量等の内容</th><th>結果</th></tr>
<tr><td rowspan="3">機能試験</td><td rowspan="3">※作動試験</td><td>計器用スイッチの作動状況</td><td>――</td><td></td></tr>
<tr><td>点検スイッチの作動状況</td><td>――</td><td></td></tr>
<tr><td>電圧の確立</td><td>――</td><td></td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="4">試験実施者が有している資格：</td></tr>
</table>

備考１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

３　使用区分の（　　）書きは、共用している設備名を記入すること。

４　結果の欄には、良否を記入すること。

５　※印の試験は「キュービクル式非常電源専用受電設備の基準」（昭和50年消防庁告示第７号）（改正平成10年消防庁告示第８号）に適合している旨の表示が付されているものにおいては、当該設備に係る部分について省略することができる。

６　操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。